

Hamatite

建築用シーリング材
変成シリコン系1成分形

カラーマスター方式で多彩に着色可能

SC-**SD 1NB**

窯業系サイディングボード用シーリング材



CATALOG No. SJSB-02

BUILDING TRUST

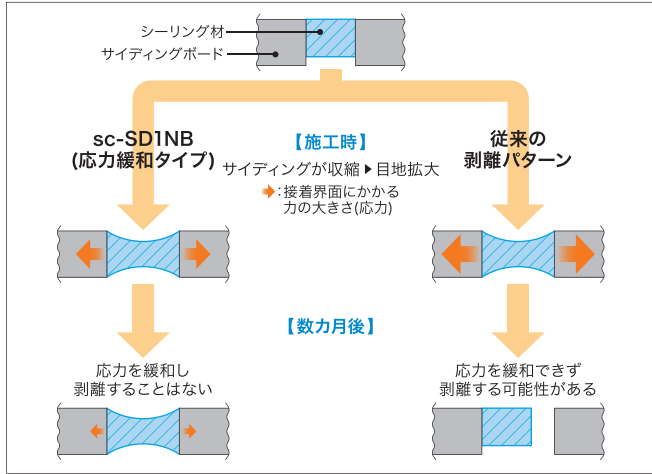


sc-SD1NBの特徴

sc-SD1NBは、当社が長年にわたり蓄積した高分子化学技術を基に、サイディングボードに対する接着性・目地の動きに対する追従性や耐久性を有しつつ、目地に塗装する場合の塗膜へのノンブリード性能も考慮した製品です。

1. 安心の低モジュラス・応力緩和性 優れた接着性

窯業系サイディングボードはボード自体の乾燥による収縮で目地に動きが発生します。このため、施工後時間の経過とともに目地幅が広がります。「sc-SD1NB」は低モジュラス性と応力緩和性を有し、サイディングボードに対する接着性及び追従性を確保することで、長期間防水性能を保持します。

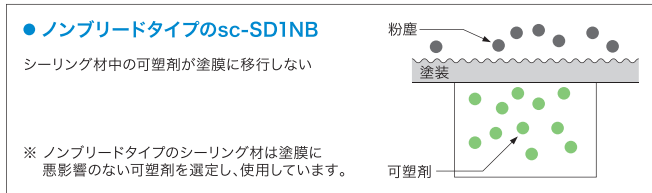
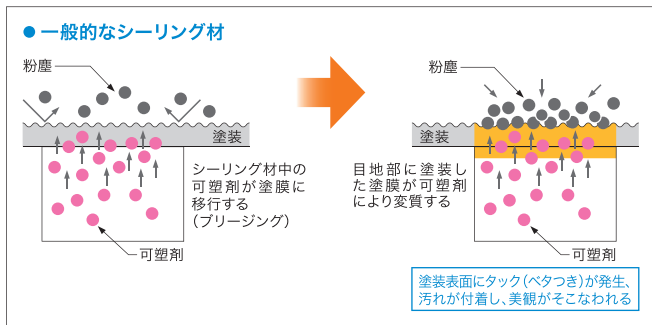


2. 塗装する場合に美観を保つノンブリード性能

新築や経年後の改修で目地部を含めた窯業系サイディングボードに塗装する場合にも、ノンブリードタイプの「sc-SD1NB」であれば、塗膜を汚し難く長期にわたり美観を維持します。

現場での不具合事例

シーリング材の塗装に対するブリード汚染のメカニズム



3. 安定した硬化性・作業性

2成分形シーリング材は、硬化剤の投入忘れ、混合不良や硬化剤の搾り出し不足などによる硬化不良が発生するおそれがありました。「sc-SD1NB」は湿気硬化タイプの1成分形シーリング材のため、硬化不足の概念がなく、安心してご使用いただけます。また、従来の1成分形と異なり季節対応を実施することで、通年で良好な作業性、硬化性を実現しています。

4. 在庫負担の軽減

1成分形のベースにカラーマスターを使用して多彩に着色することが出来ます。そのため、色毎にベース材を在庫する必要が無く、カラーマスターのみの対応となる為、在庫管理が容易です。

※ SC-SD1NB専用カラーマスターをご使用ください。

性状・性能

シーリング材性状	
外観	基材 ベースト状 カラーマスター ベースト状
混合比	基材:カラーマスター 100:3.2
JISA 5758に基づく性能	区分 F-12.5E-8020 相当 (MS-1)
	スランプ(mm) 縦 5°C 0 50°C 0
	スランプ(mm) 横 5°C 0 50°C 0
	弾性復元性(%) 70
	被着体 モルタル
	引張応力(N/mm ²) 23°C 0.3 -20°C 0.3
	定伸長下での接着性 23°C NF -20°C NF
	圧縮加熱・引張冷却後の接着性 NF
	水浸漬後の定伸長下での接着性 NF
	体積損失(%) 10.5
耐久性区分 8020相当	
有効期間(月) 6	
参考となる性状	仕様 低温度 中温度 高温度
	押出し性(秒) 5°C 3 3 4 23°C 1 2 2
	可使時間(時間) 5°C 10 - - 23°C 2 11 18 35°C - - 4
	指触乾燥時間(23°C:時間) 4 17 25
	密度(g/mL) 1.2
	耐候性 サンシャインウェサオメーター1000時間 異常なし
	引張接着性 被着体 50%引張応力N/mm ² 最大引張応力N/mm ² 最大荷重時の伸び(%)
	サイディングボード 養生後 23°C 0.14 0.29 450 加熱後 23°C 0.14 0.35 430 水浸漬後 23°C 0.07 0.20 610

※1 被着体:N社製サイディングボード・プライマーNo.55使用

仕様	施工温度範囲の目安	製造月目安
低温度	5~20°C	1,2,11,12
中温度	10~30°C	3,4,9,10
高温度	20~35°C	5,6,7,8

用途

窯業系サイディングボード目地及び取合い目地

※ 上記以外の用途には使用不可

※ 使用方法は施工手順書をご参照ください

プライマー

sc-SD1NBの優れた性能を十分に発揮するには、適切なプライマーの使用が必要です。必ずプライマーNo.55を使用してください。

性状・性能	プライマーNo.55
タイプ	1成分形
ホルムアルデヒド放散等級	JSIA F☆☆☆☆
外観	無色透明
主成分	合成樹脂 シランカップリング剤
乾燥時間(分)	5°C 60以上 23°C 30以上 35°C 15以上
塗布後有効時間(時間)	8
開栓後有効時間(不使用時密栓)	当日内
有効期間(月)	12
含有溶剤	酢酸エチル
主な適用被着体	アルミニウム・サイディングボード

容量・荷姿

sc-SD1NB	基材	4L入×2/ケース
	カラーマスター	155g入×20ヶ/ケース
※ SC-SD1NB専用カラーマスターをご使用ください。		
プライマーNo.55		500mL入×10缶/ケース



ハマタイト sc-SD1NB 施工手順

1. 施工前の打合せ

- ① 目地の納まりの検討(形状・寸法、施工条件など)を十分に行ってください。目地形状が小さい場合、シーリング材が劣化しやすくなるため、注意して下さい。

2. 施工前の準備

- ① 目地の形状、寸法に適した工具(ノズル、バックアップ材、ボンドプレーカー、ヘラなど)を選定して下さい。

3. 施工前の検査

- ① 施工部位について、目地の納まり、寸法、段差などの不具合の有無を事前にチェックし、問題があれば打合せ対処願います。
- ② 被着体の欠陥(欠け、ひび割れなど)の有無を確認し、必要に応じて補修を行ってください。

4. 被着面の乾燥と清掃

- ① 被着体が十分に乾燥していることを確認して下さい。
- ② 被着面への油分、汚れ、ゴミなどの付着による接着不良を防止するため、ハケや布での乾拭き、溶剤を浸したきれいな布での清掃などを入念に行ってください。
- ③ 清掃溶剤としてトルエンを通常使用しますが、塗装面を溶解する恐れがある場合はノルマルヘキサンを使用して下さい。但し、塗装面がトルエンで容易に溶解する場合にはプライマーでも溶解する可能性があるため、被着面の塗料を除去してから施工してください。

5. バックアップ材などの装填

- ① ハットジョイナーが無い場合など、必要に応じて目地に適したバックアップ材を装填して下さい。
- ② 目地深さに余裕がない場合には、目地底にボンドプレーカーを貼り、3面接着を防いで下さい。シリコン塗布テープは使用しないで下さい。

6. マスキングテープ貼り

- ① テープは被着面に食い込まず、かつ目地のラインに沿うように注意しながら貼ってください。
- ② テープ下にプライマーやシーリング材がまわらないよう、十分にテープを押さえて下さい。
- ③ 粘着剤を残さず、プライマーの溶剤によって接着に悪影響を受けないテープを使用して下さい。

7. プライマー塗布

- ① 塗りムラ、カスレ、塗り忘れのないようハケで均一に塗布して下さい。特に、サイディングボードの現場切断面は、プライマーの吸い込みが多く、塗りムラやカスレが生じやすいので、目地の左右を別々に、毛先で塗布する感覚で施工してください。別表にて示す標準使用量が目安となります。2割以上少ない場合は、カスレの危険性が高いため、再塗布をして下さい。

プライマーの標準使用量

目地深さ	施工メーター
8mm	120
10mm	96

目地底、マスキングテープ部への塗布を考慮し、ロス率30%で設定。
多孔質面における500ml(1缶)あたりの施工メーター数

刷毛の大きさやコシは目地幅に合わせ、十分に被着面に塗布できるものを選定してください。刷毛を再使用する場合、洗浄不足では硬化物が付着し、十分に塗布できなくなりますので、注意して下さい。

- ② プライマーの飛散、はみ出しのないように注意して下さい。
- ③ 必ずプライマーNo.55を使用して下さい。
- ④ 所定の乾燥時間(5℃:60分以上、23~35℃:30分以上)を確保した後、当日中にシーリング材を充填して下さい。
- ⑤ 当日中にシーリング材を充填できなかった場合には、再度プライマー塗布が必要になります。

8. シーリング材の混練

- ① カラーマスターをベース材の入った缶に混入し、攪拌機で縞模様がなくなるまで、十分に混練して下さい。
- ② 混練時間は10分程度とし、正転→反転→正転を繰り返し、かつ缶壁・缶底、羽根部分の混ざりにくいところは、途中でヘラを入れ、かき落として下さい。
- ③ エアーの巻き込みを防止するため、混練中はパドルを上下に動かさないで下さい。
- ④ 攪拌機には、 에어巻き込み対策用の山型パドルを使用し、缶の径、容量にあったサイズのものを使用して下さい。
- ⑤ 混練後にパドルを抜いた後のへこみは、ヘラでならさず材料缶を床に軽くたたいてレベリングさせて下さい。
- ⑥ シーリング材は必ず1缶ごとに混練して下さい。

9. ガンへの装填

- ① 所定の可使用時間内に気泡が入らないように注意しながら装填して下さい。
- ② 混合後、時間の経過とともに皮張りや増粘が生じ、装填しづらくなりますので、お早めにご使用下さい。

10. シーリング材の充填

- ① 目地幅に合ったノズルを用いて、被着面に十分な圧がかかり、かつ目地底の隅々までシーリング材が充填されるようにノズルの角度と充填速度を考慮して下さい。
- ② 目地の交差部から充填を始め、打ち止めは交差部を避けて下さい。
- ③ 日当たりの良い場所や高温時には皮張りが早くなり、打継ぎが困難になります。縦目地は一気に仕上げるなど、施工箇所を工夫して下さい。

11. ヘラ仕上げ

- ① シーリング材充填後は速やかにヘラ仕上げを行ってください。
- ② 目地の隅々までシーリング材が行き渡るように、金属、木製のヘラで十分な圧をかけて押さえて下さい。
- ③ その後、表面付近のエアを潰すように最終仕上げを行ってください。

12. マスキングテープの除去

- ① テープの粘着剤が被着体に移行しないよう、充填後速やかに除去して下さい。

13. 目地周辺の清掃

- ① 目地周辺にはみ出したシーリング材は、経時で白化していくので、きれいな布で拭き取って下さい。
- ② 布による拭き取りで不十分な場合は、4項で示した溶剤を含ませた布を絞って使用することで効果が増す場合があります。
- ③ 目地際にヒゲなどが残っている場合は、硬化後に除去した方がよい場合があります。

14. その他

- ① シーリング材表面に吹き付け塗装をする場合には、事前に塗装性を確認の上で施工を行ってください。
- ② ビス頭隠し、ボードの塗装補修などの用途として本品を使用すると経時で白化しますので、それらの用途での使用は避けて下さい。

※ 施工にあたっては材料を適正に使用しなければ性能を十分に発揮できません。
施工手順を厳守して取り扱ってください。

取扱い上の注意事項

1. 取扱い作業

- (1) 容器から出し入れするときはこぼれないようにして下さい。
- (2) 取扱い中は保護手袋・前掛けを着用して下さい。
- (3) 密室での作業においては、換気を充分に行ってください。
- (4) 作業の状況に応じ、保護メガネ・保護マスク等を着用して下さい。
- (5) 取扱い後は手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- (6) 直接皮膚に触れないようにして下さい。
- (7) 眼に入らないようにして下さい。
- (8) 蒸気を吸い込まないで下さい。
- (9) 飲み込まないで下さい。
- (10) 本製品を使用中は禁煙を厳守して下さい。
- (11) 硬化するまで触れないで養生して下さい。
- (12) 廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

2. 応急処置

- (1) 皮膚に付いた場合はすぐに付着物をウェス等で拭き取り、大量の水と石けんでよく洗って下さい。
- (2) かゆみや炎症が発症した場合は速やかに医師の診断を受けて下さい。
- (3) 眼に入った場合は清浄な水で充分に洗浄し、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- (4) 蒸気を吸って気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動して下さい。
- (5) 頭痛等の異常がある場合は速やかに医師の診断を受けて下さい。
- (6) 飲み込んだ場合は多量の水または牛乳を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受けて下さい。

3. 取扱い場所

- (1) 火気のあるところでは絶対に使用しないで下さい。
- (2) 取扱い場所には局所排気装置を設けて下さい。
- (3) 子供の手の届く所に置かないで下さい。

4. 保管

- (1) 密閉し、直射日光・火気・湿気・水を避け、冷暗所(25℃以下)で保管して下さい。
- (2) 有効期限内に使用して下さい。
- (3) 開栓後は速やかに使い切ってください。

5. 接着用以外の使用禁止

本品は建築用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないで下さい。

※ 当カタログに記載されたハマタイト製品には、有害・引火性のある製品があります。
詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシートSDSにてご参照下さい。

本書は、適切な条件のもと、適切な保管・処理・使用を前提とした場合の製品性能、一般的な施工方法・施工手順等を記載したものにすぎません。
個別・具体的な工事における、当該工事条件下での製品の選択・保管・処理・使用、施工方法・手順等は、専門家である使用者たる施工業者様の責任であります。

※本カタログ記載商品は改良のため、仕様は予告なく変更させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の記載データ、数値などは当社にて測定した代表値を示したものであり保証値ではありません。

本書に記載されている、当社製品の施工及び使用に関する情報およびアドバイス(あわせて以下「本件情報」といいます。)は、Sikaが現時点での知識及び経験に従い誠意をもって提供するものであり、当社製品が適切に保管され、適切に取扱われ、また、Sikaの推奨に従って通常の状況下で適切に施工されることを前提としております。本件情報は、本書に明記された施工条件による施工と明記された製品にのみ適用されます。例えば被着材の変更など、施工条件が変更される場合、または、異なる用途で使用される場合は、Sika製品を使用する前に、Sika技術サービス部門にお問い合わせ下さい。本件情報は、使用者が意図する製品の用途や目的について検証することを免除するものではありません。すべての注文は、Sikaの現時点での販売条件と納品条件に従うことを条件として、受注いたします。使用者は、使用される製品に関する最新のカatalogを常に参照して下さい。それらのご要望に応じて営業担当及び弊社ホームページ上から提供いたします。

2023.04 SJ TMSB DPL SPC

シーカ・ジャパン株式会社

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

TEL: 03-6434-7291

<https://www.sika-hamatite.com/>

